

第2回 大和北道路有識者委員会

議 事 要 旨

1. 日 時 平成14年11月1日（金）15：00～17：30

2. 場 所 奈良ロイヤルホテル 2階 鳳凰の間

3. 出席者

委員長	近畿大学商経学部経済学科	教授	斎藤 峻彦
委員	京都大学大学院工学研究科	教授	飯田 恭敬
	京都大学大学院工学研究科	教授	小林 潔司
	奈良女子大学	名誉教授	近藤 公夫
	(財)元興寺文化財研究所	所長	坪井 清足
	神戸大学大学院法学研究科	教授	山下 淳

(五十音順)

4. 議 事

①前回委員会の論点について、内容確認を行いました。

○第1回有識者委員会の論点の整理について

②京奈和自動車道全体の事業進捗状況について説明がありました。

○京奈和自動車道の進捗状況について

併せてこれまでに実施した「地下水検討委員会」「文化財検討委員会」について次のような意見がありました。

・文化財検討委員会の提言については、おおむね理解できる。提言を十分に尊重して、地下水の流れや景観について慎重に検討すること

③国内外のP Iの事例、大和北道路P Iプロセスの進め方(案)について説明がありました。

○P Iの事例（海外・国内）について

○大和北道路P Iプロセスの進め方（案）について

○大和北道路P Iプロセスの意見把握の進め方（案）について

○大和北道路P Iプロセスの周知や意見把握の手法（案）について

上記に関して次のような意見がありました。

・P Iプロセスを進めるにあたっては、有識者委員会の中立性・公平性を保つことが重要。したがって事務局と事業者の立場を明確にする工夫をする

- ・市民等が他人ごとではなく、自分たちの問題という意識をもってP I プロセスに参画することが重要。そのため、シンポジウム等を通じて情報を周知することが必要
- ・専門的な分野について、事前に委員会において十分議論し、現実的に可能なルートや構造の概略についてとりまとめたうえで、アンケートを実施すること
- ・「資料－４－１ P I プロセスの進め方」については、本日の議論を踏まえて委員会の役割、事務局の位置づけ等が明確になるように再度修正する

④アンケート骨子（案）について説明がありました。

○アンケート骨子（案）について

上記に関して次のような意見がありました。

- ・本日提出したアンケート骨子（案）は、各委員が大和北道路に対する配慮事項を検討するための参考資料として配付。今後、委員会として引き続き検討していく

⑤その他

- ・委員長より各委員に対し、次回の議論を円滑に進めるため、大和北道路に対する配慮事項に関する意見を事前に事務局に提出するように依頼
- ・パンフレット（案）について、各委員の意見を提出して頂き、修正のうえ、早急に配布する

5. 次回は、本日の議論を踏まえ、大和北道路に対する配慮事項やアンケート項目に関する議論を中心に行うこととなりました。

以 上